

## 目 次

### 〈 繊維情報 〉

・2006年7月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2006年6月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	7
・アジア 中 国 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出は高率の伸びを維持、輸入も大幅な増加推移.....	10
香 港 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出入共に穏やかな増加推移.....	14
台 湾 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出入とも微減推移.....	16
タ イ 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出は好調に推移、輸入は微減推移.....	19
・米 州 米 国 2006年6月の繊維品輸入、月間最高を記録.....	22
2006年7月の大手小売店販売、猛暑で夏物好調.....	25

### 〈 組合関係の会議と催事 〉

・(2006年8月)(2006年9月のスケジュール).....	28
---------------------------------	----

### 〈 組合業務報告 〉

・第1回「上海分会」開催概要(輸出入).....	30
--------------------------	----

### 〈 お知らせ 〉

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出).....	33
・引受方針変更及び国別引受条件の緩和(輸出).....	34
・10月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	36

### 〈 組合員情報 〉

・組合員情報.....	36
-------------	----



## ◎ 2006年7月の繊維品輸出概況

### I. 繊維品全体の輸出

—前年同月比1%減の7億3,645万ドルと微減推移—

2006年7月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比1%減の7億3,645万ドル（1-7月前年同期比：2%減）の微減となり、3ヶ月連続の増加には至らなかった。

なお、為替が2005年7月の111.94円に対し、2006年7月は115.67円と約3%強の円安推移となっていることから、円ベースでは2.5%増（同5%増）の851億8,500万円と、今年に入り、2月以降連続して増加推移が続いている。

#### <主要地域・国別輸出>

7月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の76%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは、前年同月比5%減（同4%減）の5億6,410万ドルと減少に転じ、全体の輸出の微減に繋がった。

東アジアの主要国向けでは、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシアが増勢で推移したが、最大市場の中国が3ヶ月振りに減少に転じたのを始め、香港、韓国、台湾、フィリピン、インドネシアが不振推移となった。

純輸出市場向けは、シェア4%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国、イランが共に増勢を維持し、全体として35%増（同26%増）の2,907万ドルと大幅に伸び、依然好調を維持している。

欧米市場も揃って好調な推移となり、シェア9%のEUは、織物類は横ばいに止まったが、原料類（綿・糸）が大きく伸び、20%増（同4%減）の5,886万ドルと大幅に増加した。一方、シェア8%の米国も、合繊綿、綿織物、アパレルが好調に推移し、12%増（同4%増）の5,583万ドルとなった。

#### <主要品目別輸出>

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体としては、数量で8%減（同1%減）、金額で1%増（同3%増）と数量減の金額微増となった。

太宗の合繊綿は、数量で10%減（同1%増）、金額で2%減（同3%増）となった。

この内、主力のアクリル綿は、主要国の中国、インドネシアが大幅に減少し、イランは好調に推移したものの、数量で15%減（同1%増）、金額で6%減（同5%増）と数量、金額共に低調な推移となった。

一方、ポリエステル綿は、タイは不振となったが、中国、EU、米国が好調に推移し、数量で10%増（同2%増）、金額でも10%増（同1%減）となった。

織維品輸出実績（2006年7月）

	単位	2006年7月				2006年1月～7月				2005年実績			
		金額		数量	前年同月比		金額		数量	前年同期比		金額	
		百万円	千ドル		数量	ドル	百万円	千ドル		数量	円	ドル	百万円
織維品総合計	ドル	85,185	736,449	99	99	532,708	4,608,042	105	105	890,100	8,070,165		
原料(綿)合計	トン	33,478	84,825	92	101	67,443	593,045	99	111	107,778	978,717		
スフ綿		5,771	20,472	107	114	14,485	125,255	97	113	23,495	212,920		
合繊綿		25,086	62,771	90	98	186,684	446,126	101	112	81,370	739,213		
(ポリエステル)		3,811	6,124	110	110	27,258	42,263	102	107	7,900	71,868		
(アクリル)		18,918	45,510	85	94	142,726	324,111	101	113	59,092	536,513		
糸 合計	トン	11,654	79,174	107	110	77,536	504,648	100	106	95,133	864,266		
人絹糸		1,041	7,383	101	109	6,892	49,976	92	108	9,694	87,856		
スフ糸		20	231	166	119	211	2,156	105	91	430	3,918		
合繊長糸		9,504	61,074	108	112	64,034	392,133	101	106	72,886	662,944		
(ナイロン)		2,135	13,906	118	110	14,063	90,180	96	105	16,378	153,473		
(ポリエステル)		3,153	13,340	102	102	22,858	10,649	96	101	17,695	161,032		
合繊短糸		384	3,161	104	113	2,480	18,690	96	107	3,565	32,329		
綿 糸		470	2,816	102	95	2,820	18,205	99	98	5,540	38,008		
織物合計	千SM	111,121	294,814	97	95	701,190	1,786,521	100	101	359,644	3,257,973		
絹織物		609	9,348	72	89	4,629	66,581	99	99	13,387	121,576		
人絹織物		5,847	18,884	78	95	41,247	148,026	90	105	25,408	230,287		
スフ織物		874	3,645	63	73	5,827	21,617	76	79	5,172	46,859		
合繊長織物		57,998	113,124	99	96	332,710	624,217	102	104	121,637	1,100,944		
(ナイロン)		6,540	12,769	107	105	41,199	76,311	121	131	11,881	107,382		
(ポリエステル)		46,329	85,651	99	96	255,907	458,161	100	103	91,064	824,217		
合繊短織物		15,318	33,976	103	97	102,823	204,526	106	104	39,477	358,090		
絹織物		24,476	74,086	95	92	186,756	65,473	97	99	112,959	1,023,683		
毛織物		5,917	41,443	100	98	24,482	158,054	92	97	38,815	350,009		
不織布	千SM	52,165	44,537	116	108	345,418	342,942	105	111	592,985	505,607		
タイヤコード織物	千SM	1,805	2,211	163	132	9,424	13,360	93	96	15,300	23,416		
コーヤコード織物	トン	1,611	36,476	92	95	10,592	233,773	97	104	17,585	387,386		
ニット生地	ドル	7,066	61,085		99	41,668	360,650		112	66,435	600,666		
アパレル	ドル	3,789	32,754		107	22,717	196,122		102	40,709	370,175		
その他	ドル	11,633	100,572		99	72,525	627,431		108	119,428	1,081,958		

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類11部の合計。  
 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。  
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。  
 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU 向は横ばいとなったが、東アジアが伸び、数量で 3% 増（同 13% 減）、但し金額では横ばい（同 15% 減）推移となった。

スフ綿は、最大市場の中国が激減したが、韓国、パキスタン、ベトナム、EU が増加し、数量で 7% 増（同 3% 減）、金額で 14% 増（同 5% 増）と好調な推移となった。

**糸類**の輸出は、数量で 7% 増（同横ばい）、金額で 10% 増（同 2% 減）と、数量、金額共に好調な推移となった。

主力の合繊長繊維糸は数量で 8% 増（同 1% 増）、金額で 12% 増（同 2% 減）となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、香港、米国は減少したが、中国、台湾、EU が健闘し、数量で 2% 増（同 4% 減）、金額で 2% 増（同 6% 減）と堅調な推移となった。一方、ナイロン長繊維糸は、中国、EU は減少したが、タイ、フィリピン、台湾、米国が増加し、数量で 18% 増（同 4% 減）、金額で 10% 増（同 3% 減）と数量、金額共に 2 桁の増加となった。その他の合繊長繊維糸では、ポリウレタン糸は、主力の中国を中心とする東アジアが不振で、数量で 5% 減（同 8% 減）となったが、金額では 1% 増（同 21% 減）に微増となった。

また、人絹糸は、中国の減少を韓国、EU の増加でカバーし、数量で 1% 増（同 8% 減）、金額 9% 増（同横ばい）となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で 3% 減（同横ばい）、金額で 5% 減（同 6% 減）と、数量、金額共に減少推移となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で 1% 減（同横ばい）、金額で 4% 減（同 4% 減）となった。

地域的には、全体の 72% を占める東アジア向けは、最大市場の中国を始め、台湾、タイ、シンガポール、スリランカが減少したが、香港、韓国、ベトナム、インドネシアが好調に推移し、東アジア全体としては、横ばい（同横ばい）となった。

一方、純輸出市場向けは、これまで好調に推移してきた、西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に減少に転じ、西アジア全体として 12% 減（同 10% 増）となった。

欧米市場向けは、EU は 105% 増（同 19% 増）と急増したが、米国は対照的に 46% 減（同 20% 減）とほぼ半減した。

ナイロン織物は、数量で 7% 増（同 21% 増）、金額で 5% 増（同 22% 増）と好調を持続している。

シェア 86% の東アジア向けは、主力の中国、香港、ベトナムが大きく伸び、全体として 13% 増（同 29% 増）と大幅に増加した。その他では、シェア 6% の米国は 42% 減（同 29% 減）と後退が続いている。

綿織物は、数量で 5% 減（同 3% 減）、金額で 8% 減（同 9% 減）と、数量、金額共に減少推移となった。

84% のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国、香港、タイが大きく落ち込み、ベトナム、韓国、マレーシア、インドネシアは増加推移となったが、東アジア全体として 10% 減（同 2% 減）となった。その他の市場では、シェア 10% の米国は 32% 増（同 7% 減）と久々に

大幅な増加となった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で8%増（同9%減）、金額で1%増（同2%減）となった。

全体の61%を占める東アジア向けは、中国、香港が減少したものの、ベトナム、韓国、シンガポールが大幅に増加し、東アジア全体として4%増（同1%増）となった。一方、シェア38%の民族衣装用の西アジアは、クエートが微減となったものの、アラブ首長国、サウジアラビアが揃って増加し、西アジア全体として13%増（同25%増）となった。

人絹織物は、数量で22%減（同10%減）、金額で5%減（同3%減）と数量、金額共に減少推移となった。

シェア74%の東アジアは、大手市場の香港、中国が共に減少し、東アジア全体として30%減（同10%減）の大幅減少となった。シェア13%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に大きく伸び、全体として92%増（同21%増）と著増した。一方、欧米市場は、EUが2%増（同20%減）と健闘したが、米国は42%減（同20%減）と大幅に後退した。

毛織物は、数量で横ばい（同8%減）、金額で2%減（同9%減）と数量横ばいの金額は微減となった。

地域的には、東アジアが96%とほぼ全量を占めている。中国、ベトナムは増加したが、香港、台湾が大幅に減少し、東アジア全体として1%減（同9%減）となった。

**不織布**の輸出は、数量で16%増（同5%増）、金額で8%増（同3%増）となった。

全体の53%を占める東アジアは、台湾、タイが激減したが、最大市場の中国を始め香港、韓国が好調に推移し、全体として4%増（同12%減）となった。

欧米市場は、シェア36%の米国は22%増（同50%増）と依然好調を維持し、量的には最大の市場になっている。一方、シェア6%のEUも41%増（同10%減）と大幅な増加となった。

**コート織物**の輸出は、数量で8%減（同3%減）、金額で5%減（同4%減）と数量、金額共に低調な推移となった。

全体の83%を占める東アジアは、最大輸出先の中国及びベトナムが好調に推移したが、香港、インドネシアが大幅に減少し、全体として横ばい（同1%減）に止まった。欧米市場は、シェア5%のEUは18%増（同15%増）と増加したが、シェア4%の米国は7%減（同40%減）と減少が続いている。

**ニット生地**の輸出は、数量で3%減（同4%増）、金額で1%減（同4%増）と数量、金額共に微減推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、香港、ベトナム、台湾、インドネシアは増加推移となったが、最大市場の中国、韓国、タイが低調な推移となった。

また、欧米市場向けは、米国は好調な推移を続けているが、EUは大幅な減少推移となった。

**アパレル**の輸出は、金額で7%増（同6%減）と2ヶ月連続の増加となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、米国、台湾、香港、中国が揃って好調に推移し、

金額で45%増(同2%増)と大幅な増加となった。下着類は、韓国が健闘したが、台湾、中国、香港が減少し、金額で23%減(同横ばい)となった。

一方、ニット製衣類では、外衣類は、香港、台湾は増加したが、中国、韓国が激減し、金額で12%減(同横ばい)となった。また、下着類は、台湾は増加したが、香港、韓国が減少し、金額で6%減(同19%減)となった。

**その他二次製品**は、金額で1%減(同横ばい)の微減となった。

## II. 原料(綿・糸)の輸出

### <綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ポリエステル綿、ビニロン綿、スフ綿は堅調推移となったが、主力のアクリル綿が2桁の減少となり、全体では8%減の33,478トン、金額については1%増の8,483万ドルと微増にとどまった。

### <糸輸出>

糸は、主力の合繊長繊維糸をはじめ、合繊短繊維糸、人絹糸、綿糸がいずれも堅調に推移し、全体では7%増の11,654トン、金額についても10%増の7,917万ドルとなった。

### 2006年7月の原料(綿・糸)の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2006年7月				2006年1～7月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,771	107	20,472	355	35,127	97	125,255	357
合繊綿	25,086	90	62,771	250	186,684	101	446,126	239
ポリエステル	3,811	110	6,124	161	27,258	102	42,263	155
アクリル	18,918	85	45,510	241	142,726	101	324,111	227
他合繊綿	2,358	110	11,137	472	16,701	95	79,753	478
人絹糸	1,041	101	7,383	709	6,892	92	49,976	725
合繊長糸	9,504	108	61,074	643	64,034	101	392,133	612
ナイロン	2,135	118	13,906	651	14,063	96	90,180	641
ポリエステル	3,153	102	13,340	423	22,858	96	92,085	403
他合長糸	4,217	107	33,829	802	27,114	108	209,868	774
綿糸	470	102	2,816	599	2,820	99	18,205	646

出所：財務省統計

### Ⅲ. 織・編物（絹・化合織・綿・毛）の輸出

7月の織物（絹・化合織・綿・毛）の輸出は、ナイロン織物、ポリエステル短繊維織物が増勢で推移したが、ポリエステル長繊維織物、綿織物は減少推移となり、織物トータルとしては、数量で前年同月比3%減（1-7月：前年同期比横ばい）、金額では5%減（同6%減）となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地、コーテッド織物は、数量、金額共に微減推移となった。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、韓国、シンガポール、ベトナム、マレーシアが数量、金額共に前年同月を上回り健闘した。

一方、最大市場の中国を始め、香港、台湾、タイ、フィリピンは数量、金額共に何れも前年同月を下回った。なお、インドネシアは数量増の金額減となった。

#### 2006年7月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：1,000SM、1,000\$、前年比は数量比%

	2006年7月			2006年1-7月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	609	9,348	72	4,629	66,581	99
人絹織物	5,847	18,884	78	41,247	128,026	90
スフ織物	874	3,645	63	5,827	21,617	76
合織（長）織物	57,998	113,124	99	332,710	624,217	102
ポリ（長）織物	46,329	85,651	99	255,907	458,161	100
ナイロン織物	6,540	12,769	107	41,199	76,311	121
合織（短）織物	15,318	33,976	103	102,823	204,526	106
ポリ（短）織物	14,471	31,925	108	96,499	191,876	109
綿織物	24,476	74,086	95	186,756	565,801	97
毛織物	5,917	41,443	100	24,482	158,054	92
コーテッド織物	1,611	36,476	92	10,592	233,773	97
ニット生地	16,363	61,085	97	108,679	360,650	104

(注) 1. ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

純輸出市場では、これまで好調を持続している西アジアは、サウジアラビアが数量、金額共に前年同月を上回り、アラブ首長国は数量は横ばいとなったが、金額は単価の上昇により大幅に増加した。

欧米市場は、EUは主力のポリエステル長繊維織物が大幅に増加し、数量は前年同月を上回ったが、単価の低下により、金額は微減となった。また米国はポリエステル長繊維織物は低迷したが、綿織物が大幅に増加し、EUとは逆に数量減の金額増となった。

#### IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2006年7月の輸出は、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは、布帛製下着、ニット製外衣・下着が不振に推移したが、布帛製外衣が増勢基調に推移し、全体では前年同月比7%増の32,754千ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物及び細幅織物・紐類が減少推移、漁網・その他の網・網地が増加推移となった。

#### 2006年7月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2006年7月		2006年1~7月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	20,336	119	115,775	98
外衣	13,900	145	69,933	102
下着	3,099	77	25,832	100
スカーフ・マフラー	842	96	4,331	98
ニット製衣類・付属品	12,417	93	80,347	88
外衣	4,092	88	25,600	100
下着	4,732	94	36,765	81
敷物	2,443	86	16,708	90
漁網・網・網地	3,426	139	26,220	115
細幅織物・紐類	15,887	93	105,840	94

#### ◎ 2006年6月の繊維品輸入概況

##### 1. 繊維製品計

6月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比106.7%（前月比は96.6%）、ドルベース同101.2%（前月比は94.0%）、数量(重量)同98.8%（前月比は94.1%）と、円金額が11ヶ月連続で増加、ドル金額は4ヶ月連続増加、数量は4ヶ月ぶりに減少した。前月比は、前月同様に端境期のため低水準の輸入となり金額、数量ともに減少した。

糸類は数量で前年同期比 16.7%減と前月より更にマイナス幅が拡大し 13 ヶ月連続で減少。内訳は、絹糸、毛糸が増加、綿糸、人織(長)糸、人織(短)糸、その他の糸が減少した。織物類は同 4.2%減と 2 ヶ月ぶりに減少し、今年 1 月以降は 1 ヶ月毎に増減を繰り返している。毛織物、人織(長)織物、メリヤス生地が増加、絹織物、綿織物、黄麻織物、人織(短)織物、その他の織物が減少した。衣類は同 0.6%の微減となり 4 ヶ月ぶりの減少。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同 8.7%増で 4 ヶ月続けて増加した。

前月は前年同期比で円金額が 12.1%、ドル金額が 7.4%、数量も 2.1%と揃って増加したが、今月は円金額が 6.7%増加、ドル金額も 1.2%の増加、数量は 1.2%の減少と、円安の影響を受けて増加した円金額を除き、概ね前年並みの落ち着いた輸入となった。なお、6 月の為替相場は前年同月比 5.3%円安の 114 円 53 銭であった。ドル金額の内訳を見ると、糸類が 4.4%減少したが、織物類は 2.9%、太宗を占める衣類は 0.5%、二次製品も 7.0%それぞれ増加し、繊維製品計では 1.2%の増加となった。

## 2. うち糸類

- 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比 1.3%の微増となったものの、前年同月比は 33.9%の大幅減となり 6 ヶ月連続のマイナスとなった。これは、昨年後半以降の綿糸需要の落ち込みに加え輸入糸価額の上昇により低水準輸入が続いているためである。綿糸輸入の 84%を占める純綿糸の輸入を前月に比べると、国別では首位のパキスタンは価額アップもあり 21.3%の大幅減となったものの、2 位のインドの 30.1%の大幅増をはじめ 3 位以下インドネシア、中国もそれぞれ増加となった。番手別では 20 番手中心が 24.1%減となったものの、30 番手中心 19.7%、40 番手中心 22.2%、40 番手以上も 9.7%各々増加となった。糸種別にみるとカード糸は 9.2%のマイナスとなったがコマ糸 12.1%のプラスとなった。なお、混紡綿糸は 4.3%の減少となり 4 ヶ月ぶりに前月を下回った。
- 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース 27.6%増と 2 ヶ月連続の増加となった。糸種別に見ると、紡毛糸が同 228.0%増と大幅に増加し 6 ヶ月連続の増加、太宗を占める梳毛糸も同 21.3%増となった。国別では、トップシェアの中国が同 45.2%増と 3 ヶ月連続で増加、第 2 位のマレーシアは同 4.4%減少した。この他の主要国ではペルー、台湾が増加、イタリア、タイ、インドからの輸入は減少した。
- 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が 3 ヶ月連続増加の調整もあり前月比、前年同月比とも 12.1%、14.5%と 2 桁以上の落ち込みとなった。主要商品別に前月と比較すると、量的に少ない人絹糸は 17.7%の増加となったものの、主力商品の台湾からのポリエステル糸は 3 ヶ月連続増の反動もあり 7.5%減、ナイロン糸も 6 ヶ月ぶりに 2,000 トンを下回るなど 35.5%の大幅減となった。一方、人織(短)糸は、主力商品の T/C,T/R のポリエ

ステル紡績糸が 6.7%減となったものの、最近増加傾向にあるスフ糸、アクリル紡績糸も前月の落ち込みの反動で増加したことにより、全体では前月比 2.7%増、前年同月比も 1.4%の微減に留まった。

### 3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 5.1%、前年同月比も 13.9%の減少となった。これは、縫製の海外シフト、素材の海外調達による国内綿織物需要の縮小によるものと思われる。国別で前月に比較すると首位で全体の 74%を占める中国は 9.4%、2位のインドネシアも 5.9%それぞれ減少となったがマレーシア、パキスタン等量的に少ない国は増加となった。品種別にみるとポップリン、金巾、粗布・細布の 3 大商品は 5.2%、4.3%、2.6%いずれも前月に比べ減少となった。
- 毛織物の輸入実績は、前月が減少した反動もあり面積ベースで前年同月比 31.8%増加し、2ヶ月ぶりの増加となった。中国からの輸入が同 71.7%の大幅増となり、イタリアからの輸入も 11.4%増と、前月とは一転し上位 2ヶ国が増加、一方、第 3位のイギリスからは同 12.6%減と引き続き減少した。品種別では、紡毛織物が同 12.5%増と 2ヶ月ぶりに増加、主力の梳毛織物も同 34.8%増と 2ヶ月ぶりに増加した。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで全体的に安定した輸入が続いている人織(長)織物は前月比 3.0%、前年同月比 8.7%と増加となった。ただ品目別に前月に比較するとポリプロピレン等其の他織物は横這いとなったものの、量的に少ないナイロン織物が 61.0%の大幅減少となり、主力商品のポリエステル織物は 20.2%の増加となる等まだら模様となっている。国別で見ると首位の中国が 3.1%、2位韓国 8.3%、3位台湾 14.8%と主要国はポリエステル織物の増加によりプラスとなったが、その他は 5.4%のマイナスとなった。一方、人織(短)織物は主力の中国、インドネシアからのポリエステル織物が 13.1%の減少、ふすま、ガムテープ用のスフ織物も 12.5%減となり、全体では前月比 11.4%、前年同月比も 6.4%のマイナスとなった。

### 4. うち衣類

ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 5.4%減、布帛製衣類は同 4.9%増、身の廻り品も重量ベース 1.0%増となり、衣類計で重量ベース 0.6%減少となった。ニット製衣類は 4ヶ月ぶりに減少し、布帛製衣類、身の廻り品はともに 4ヶ月連続で増加、衣類計は 4ヶ月ぶりの減少となった。

主要国別に見ると

- 中国は対前年同月比(枚数)でニット製衣類が 5.6%減少し 4ヶ月ぶりの減少、布帛製衣類は 5.5%増加し 4ヶ月連続で増加、身の廻り品も重量ベース 1.8%増で 4ヶ月連続の増加となった。今年 1~6月の衣類計(重量)のシェアは 90.6%(金額ベースでのシェアは

81.9%)。

- 韓国はニット製衣類が同 30.4%減少、布帛製衣類も同 18.9%減となり、ニット製衣類、布帛製衣類ともに 2 ヶ月連続で減少した。
- イタリアはニット製衣類が同 2.7%増と 18 ヶ月ぶりに増加、布帛製衣類も同 7.8%増と 13 ヶ月ぶりで増加。
- ベトナムはニット製衣類が同 3.8%減と 3 ヶ月ぶりに増加した前月から再び減少、布帛製衣類も同 9.3%減と 9 ヶ月ぶりに減少した。
- 商品別には、ニット製衣類ではジャケット、ズボン、ドレス、スカートが増加、コート、スーツ、アンサンブル、セーター、スポーツウェア、下着類が減少。中でも、ジャケットは対前年同月比(枚数)で 2 倍超の 211.6%となった。布帛製外衣類では紳士用が同 13.1%増、婦人用も同 2.7%増加した。紳士用では、コート、ジャケット、ズボン、下着類が増加、スーツ、アンサンブルが減少で前月と同じ、婦人用は、コート、スーツ、ジャケット、ドレス、スカート、下着類が増加、アンサンブル、ズボン、ブラウスが減少となった。

前月は数量が 2.1%の増加、金額は円ベースで 12.1%、ドルでも 7.4%とそれぞれ増加したが、今月は数量が 1.2%の減少、金額は円ベースで 6.7%の増加、ドルも 1.2%の増加となり、金額ではプラスを維持したが、数量は僅かながらも減少となった。

今年の上半期(1~6月)で見ると、繊維製品全体では重量ベース前年同期比 1.6%、金額は円ベースで 14.1%、ドルベースで 4.5%それぞれ増加した。なお、上半期の平均為替レートは 1 ドル=115 円 72 銭と前年同期比で約 9.2%の円安となっている。また、品目別に重量で見ると、糸類が 9.5%の減少、織物が 0.1%減とほぼ横這い、衣類が 4.3%増加、二次製品類が 3.9%増加となった。



## ◎ 2006 年 1~6 月の繊維品貿易・輸出は高率の伸びを維持、輸入も大幅な増加推移

### 【輸出】

—25%増の 600 億 3,241 万ドルと依然高率の伸びを維持—

新たに欧米向けに規制枠が設定され、その動向が注目される、2006 年度の中国の繊維輸出であるが、1-6 月の輸出は、前年同期比 25%増と依然高率の伸びを維持している。

単月での伸びを見ると、1 月 24%増、2 月 4%増、3 月 36%増、4 月 27%増、5 月 31%増、6 月 25%増と、2 月に一度鈍化したが、それ以降は再び高い伸びを記録している。



### <地域別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア 42%（前年同期比 23%増）、ヨーロッパが同 26%（同 42%増）、北米が同 15%（同 3%増）、西アジアが同 6%（同 32%増）、中米が 3%（同 58%増）、南米が同 2%（同 48%増）、アフリカが同 5%（同 27%増）、大洋州が同 2%（同 10%増）の市場構成となっている。

国別では、1位 EU（89億 3,009万ドル：9%増）、続いて日本（83億 3,132万ドル：9%増）、香港（82億 219万ドル：25%増）、米国（74億 6,799万ドル：1%減）、韓国（24億 480万ドル：43%増）、ロシア（17億 2,349万ドル：32%増）、カナダ（12億 5,511万ドル：45%増）、アラブ首長国（12億 809万ドル：17%増）、オーストラリア（10億 9,754万ドル：10%増）、シンガポール（9億 6,861万ドル：59%増）の順で、この 10大市場で全体の輸出の 69%のシェアを占めている。

昨年は枠が撤廃された EU、米国向けが衣料品を中心に特に突出した伸びとなったが、今年は EU、米国向けに枠が新たに設定されたこともあり、両国への伸びは大幅に鈍化（特に米国は減少）、代わって、韓国、香港、シンガポール等の東アジア諸国、ロシア、カザフスタン等の旧東欧諸国、カナダ、中南米諸国等が大きく伸びているのが、特徴的な傾向である。

### <品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の 61%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品は、枠制限により、米国、EU 向けの伸びが昨年に比べ減速（特に米国は減少）しているにも拘らず、東アジア諸国、旧東欧諸国等、その他の諸国が伸び、30%増の 367億 9,074万ドルと大幅な伸びを維持していることが注目される。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が 42%増の 181億 6,478万ドルと大きく伸び、また布帛製衣料品及び同付属品の輸出も 20%増の 186億 2,596万ドルと高い伸びを維持している。

衣料品について主要輸出先をみると、ニット製衣料品は、トップ市場は日本（31億 8,174万ドル：12%増）、続いて EU（21億 9,621万ドル：7%減）、香港（20億 8,378万ドル：87%増）、ルーマニア（16億 4,498万ドル：12倍増）、米国（16億 835万ドル：22%減）、ロシア（7億 6,543万ドル：103%増）、韓国（7億 314万ドル：75%増）、オーストラリア（4億 7,293万ドル：5%増）、カザフスタン（4億 4,015万ドル：189%増）、カナダ（4億 3,044万ドル：64%増）の順となっており、米国、EU が昨年の激増もあり、減少推移となっているが、他方東アジアの香港、韓国、東欧のロシア、ルーマニア、カザフスタン、またカナダ等が激増しているのが注目される。

また、布帛製衣料品の輸出先は 1位が EU（38億 14万ドル：17%増）で、続いて日本（36億 5,065万ドル：6%増）、米国（31億 3,432万ドル：4%減）、香港（18億 4,922万ドル：21%増）、韓国（7億 1,884万ドル：48%増）、ロシア 5億 7,957万ドル：1%増）、ルーマニア（5億 7,113万ドル：653%増）、カナダ（5億 5,219万ドル：50%増）、シンガポール（3億 8,850万ドル：123%増）の順で、ここでも、米国は減少推移、一方、韓国、香港、シンガポール、

カナダ、ルーマニア向けの増加が目立っている。

織物類の輸出は、太宗の綿織物、また合繊短繊維織物が好調に推移しており、ポリエステル長繊維織物は伸び悩んでいるが、全体として、数量で9%増の86億174万メートル、金額で12%増の80億7,231万ドルと数量・金額共に順調に推移している。

糸類の輸出も好調で、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸も大幅に増加しており、全体として数量で27%増の86万2,468トン、金額で23%増の30億4,880万ドルと、数量・金額共に好調な推移となっている。

綿類の輸出も、合繊綿、スフ綿の輸出が大きく伸び、数量で34%増の23万1,417トン、金額で15%増の6億3,283万ドルと規模は未だ小さいが、高い伸びを記録している。

## 【輸 入】

—24%増の133億3,909万ドルと大幅な増加推移—

繊維品輸入は、織物は減少しているが、綿類で、国内の綿花不足から特に米国からの綿花が激増していることもあり、全体として24%増の133億3,909万ドルと大幅な伸びとなった。

この結果、中国の1-6月の繊維品貿易収支黒字額は、前年同期比26%増の466億9,332万ドルとなっている。

### <地域別、国別輸入状況>

地域別では、東アジアがシェア65%（前年同期比：9%増）を占め、西アジアが同3%（同91%増）、ヨーロッパが同6%（同11%増）、北米が同15%（同128%増）、中米が同0.3%（同41%減）、南米が同1%（同103%増）、アフリカが同4%（同187%増）、大洋州が同5%（同18%増）の市場構成となっている。

国別では、1位米国（19億5,036万ドル：135%増）、続いて日本（17億435万ドル：5%減）、台湾（16億7,639万ドル：1%増）、韓国（13億5,625万ドル：7%減）、香港（8億9,267万ドル：11%増）、EU（7億7,204万ドル：10%増）、インド（6億1,839万ドル：409%増）、オーストラリア6億1,830万ドル：16%増）、ウズベキスタン（3億6,462万ドル：83%増）、パキスタン（3億5,635万ドル：35%増）の順で、この10大市場で輸入全体の77%のシェアを占めている。

### <品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、化合繊は低調な推移となっているが、天然繊維が米国よりの綿花を中心に著増しており、全体として、数量で92%増の334万8,833トン、金額で76%増の49億3,543万ドルと大幅な増加となっている。

糸関係は、太宗の綿糸が大きく増加し、合繊長繊維糸はほぼ横ばいで推移しているが、全体として数量で10%増の89万3,002トン、金額で11%増の22億471万ドルと数量、金額共に2桁の増加となっている。

一方、織物類は、綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物等各品目ともに総じて低調な

推移となり、トータルとして数量で 8%減の 20 億 6,221 万メートル、金額で 4%減の 27 億 6,913 万ドルとなった。

その他品目では、ニット生地が金額で 8%増の 9 億 8,999 万ドル、コーテッド織物が 7%増の 5 億 4,974 万ドルとなっている。

また、衣料品は、未だ額は僅少であるが、ニット製衣料品が 40%増の 3 億 3,737 万ドル、布帛製衣料品が 23%増の 4 億 454 万ドルと高い伸び率となっている。



### ◎ 2006 年 1～6 月の繊維品貿易・輸出入共に穏やかな増加推移

香港の 2006 年 1～6 月の繊維品貿易は、輸出は前年比 3%増の 186 億 2,903 万ドル、輸入は 1%増の 149 億 342 万ドルと、輸出入共に揃って穏やかな増加推移となっている。

#### **輸 出**

地域別の輸出先をみると、全体の 46%を占める東アジア向けは 5%増の 85 億 7,156 万ドル、24%を占める北米が 1%減の 45 億 5,446 万ドル、23%を占めるヨーロッパが 6%増の 42 億 2,755 万ドルで、この 3 地域で全体の 93%を占めている。

主要国別輸出では、1位の中国は 7%増の 59 億 933 万ドルと増勢、続く米国は 2%減の 41 億 5,297 万ドル、EU は 6%増の 40 億 3,838 万ドルで、欧米市場は明暗を分けている。

以下、日本が 4%減 7 億 2,452 万ドル、カナダが 12%増の 4 億 168 万ドル、オーストラリア 3%減 3 億 192 万ドルの順となっている。

品目別輸出では、全体の輸出の 62%を占める最大輸出品目の衣料品は、ニット製衣料品が 5%増の 55 億 593 万ドル、布帛製衣料品が 4%増の 60 億 9,416 万ドルで、共に堅調に推移している。

織物類の輸出は、主要織物の綿織物及び合繊長繊維織物が数量・金額共に減少し、織物全体として、数量で 3%減の 39 万 6,711 トン、金額で 5%減の 23 億 7,056 万ドルとなった。

原料関係では、糸類の輸出は、最大輸出品目の綿糸は数量・金額共に 2 桁の増加を記録、合繊長繊維糸は数量増の金額横ばいとなり、全体として、数量で 7%増の 52 万 4,161 トン、金額で 4%増の 18 億 9,072 万ドルとなった。また、綿類の輸出は、数量で 13%増の 7 万 7,341 トン、金額で 3%減の 9,783 万ドルと数量増の金額減となった。

2006年1～6月の香港の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出			
	2005年実績		2006年(1～6)		2005年実績		2006年(1～6)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計		31,357,735		14,903,421		18,629,032		103
原料(綿)合計	TON	226,572	310,947	148,335	77,341	97,828	113	97
スフ綿	TON	14,695	54,066	8,942	3,111	10,560	83	86
合繊綿	TON	75,531	113,580	30,409	22,754	41,514	58	70
(ポリエステル)	TON	66,442	79,735	25,375	17,973	25,114	53	60
(アクリル)	TON	5,448	12,979	2,642	2,675	6,507	85	82
糸合計	TON	1,061,309	4,037,650	574,463	524,161	1,890,724	107	104
人絹糸	TON	10,268	62,801	5,100	4,970	25,234	115	91
スフ糸	TON	24,074	142,437	12,558	10,790	59,963	101	102
合繊長繊維糸	TON	167,213	658,052	86,741	78,847	297,497	109	99
(ナイロン)	TON	78,859	295,544	44,124	39,213	140,205	115	108
(ポリエステル)	TON	56,626	130,345	28,838	26,248	56,546	116	106
合繊短繊維糸	TON	107,072	441,876	56,778	50,004	211,011	95	96
綿糸	TON	701,304	1,914,550	386,320	357,226	1,020,676	110	113
織物合計	TON	823,764	4,980,199	394,707	396,711	2,370,564	97	95
絹織物	TON	4,478	176,462	1,843	1,615	60,644	95	94
人絹織物	TON	14,191	141,879	5,570	3,659	42,726	65	76
スフ織物	TON	5,865	56,935	2,975	2,220	21,956	92	100
合繊長繊維織物	TON	176,542	1,007,203	89,092	76,290	401,029	98	95
(ナイロン)	TON	68,965	347,339	39,472	34,252	140,692	121	103
(ポリエステル)	TON	83,902	480,555	37,638	31,681	182,272	85	89
合繊短繊維織物	TON	70,666	436,522	34,550	34,951	195,332	102	99
綿織物	TON	513,033	2,707,126	244,590	263,428	1,485,132	96	95
毛織物	TON	8,011	207,825	4,293	2,981	69,824	87	84
不織布	TON	26,595	171,608	14,938	13,593	91,943	115	111
タイヤード織物	TON	3,082	13,552	1,082	1,235	5,803	76	79
コーテッド織物	TON	117,012	513,200	56,486	50,334	255,739	91	103
ニット生地	TON	533,361	2,728,795	278,250	274,471	1,516,955	109	110
ニット製衣料			9,245,559			5,505,925		105
布帛製衣料			8,027,108			6,094,162		104
その他			1,329,118			799,389		101

出所:香港通関統計

## 輸 入

輸入については、地域別では、92%と圧倒的なシェアを占める東アジアからの輸入が1%増の136億7,300万ドル、シェア6%のヨーロッパが1%増の9億5,989万ドルで、両市場からの輸入が98%を占め、共に微増推移となっている。

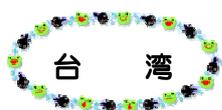
国別では、1位が中国で2%減の103億8,626万ドル（シェア70%）、2位は香港（注：香港の統計では、第三国（ほとんどが中国と思われる）に原材料を輸出し完成品を輸入した場合、その付加価値部分は、中国からの輸入となるが、原材料輸出部分は香港の輸入として分類される。）で59%増の9億7,043万ドル、3位はEUで横ばいの8億9,147万ドル、4位は台湾で7%減の7億8,288万ドル、5位は日本で6%減の4億700万ドル、6位は韓国で15%減の3億7,765万ドルとなっている。

品目別輸入では、全体の52%を占める最大品目の衣料品は、ニット製衣料品が横ばいの39億165万ドル、布帛製衣料品が1%減の38億1,817万ドルで、各々ほぼ前年並みの推移となっている。

その他品目では、織物類の輸入は、最大品目の綿織物は数量・金額共に微減推移、合繊長繊維織物は数量増の金額微減となり、全体として、数量で1%減の39万4,707トン、金額で2%減の23億5,711万ドルとなった。

原料関係では、糸類は、最大品目の綿糸が大幅に伸び、合繊長繊維糸は数量増の金額減となったが、全体として、数量で16%増の26万2,949トン、金額で13%増の9億527万ドルとなった。

また、綿類の輸入は、合繊綿が大幅な減少推移となったが、綿花を中心に天然繊維が大きく伸び、数量で42%増の14万8,335トン、金額で31%増の1億9,045万ドルとなった。



### ◎ 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出入とも微減推移

<輸出は1%減の58億7,262万ドルと微減推移>

台湾の通関統計によれば、2006年1～6月の台湾の繊維品輸出は1%減の58億7,262万ドルと、微減ではあるが、昨年に続き減少推移となっている。

市場的には、全体の71%を占める東アジア向けは、主要国では、中国が15%増（10億7,005万ドル）と伸び、他にベトナムが11%増（5億2,210万ドル）、タイ7%増（1億5,027万ドル）、カンボジア21%増（1億4,224万ドル）と増勢で推移しているが、最大市場の香港が13%減の12億4,010万ドルと大きく減少、またインドネシア7%減（2億3,299万ドル）、日本3%減

2006年1～6月の台湾の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2005年実績		2006年(1～6)		2005年実績		2006年(1～6)		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	393,618	2,610,870	195,861	1,302,897	799,931	11,784,256	405,419	5,872,617	99
スフ綿	13,783	27,770	6,598	13,404	68,084	104,151	51,376	77,188	171
合綿綿	30,534	66,019	10,126	25,037	688,649	930,092	334,160	452,412	98
(ポリエステル)	12,026	16,201	3,747	5,463	566,503	699,942	262,514	316,038	92
(アクリル)	4,867	11,970	390	919	114,246	204,481	66,656	122,165	133
糸合計	116,493	385,532	50,689	179,595	1,002,540	2,174,876	519,224	1,104,822	111
人絹糸	2,453	9,446	901	3,572	7,435	26,638	4,824	14,543	155
スフ糸	2,029	5,822	495	1,738	7,781	25,884	5,703	16,585	129
合綿長繊維糸	50,306	210,768	25,756	109,701	840,086	1,765,271	426,145	881,301	108
(ナイロン)	23,764	91,191	14,216	55,576	202,585	630,414	108,916	329,366	107
(ポリエステル)	14,344	38,517	5,258	14,543	596,782	1,007,940	299,981	495,754	111
合綿短繊維糸	21,449	48,879	6,998	16,722	62,861	190,617	33,034	99,544	106
綿糸	38,335	102,742	15,904	45,624	81,965	145,011	48,364	83,569	146
織物合計		179,438		77,885		2,625,238		1,349,151	100
絹織物		3,478		284		776		37	7
人絹織物	463	8,877	284	2,161	1,102	39,257	19,389	16,671	88
スフ織物	8,651	6,154	3,550	3,609	40,474	124,825	45,108	53,027	83
合綿長繊維織物	1,974	42,335	706	2,594	105,459	1,650,526		891,723	105
(ナイロン)	6,594	6,749	27,712	8,790	732,881	457,096	439,429	273,824	118
(ポリエステル)	23,042	22,198	10,678	9,003	1,099,802	787,454	547,135	402,527	103
合綿短繊維織物	124,927	32,881	55,004	15,512	389,940	311,533	166,552	142,759	87
綿織物	89,493	72,194	35,639	24,508	338,476	492,341	172,367	240,479	100
毛織物	2,634	11,652	885	4,241	366	1,507	536	2,645	276
不織布	18,238	74,517	9,424	38,138	62,642	205,940	32,741	110,457	105
タイヤコード織物	9,358	41,131	5,011	21,008	34,254	143,937	15,029	61,241	90
コーテッド織物	5,019	48,946	3,225	19,491	242,375	1,132,243	110,155	534,620	85
ニット生地		34,529		15,576		1,862,675		991,094	103
ニット製衣料		427,418		218,333		824,496		356,412	101
布帛製衣料		602,058		316,969		479,461		191,823	75
その他		284,222		144,575		1,196,073		596,326	100

出所：台湾通関統計

(1億6,542万ドル)、フィリピン9%減(1億2,015万ドル)と減少推移となり、全体としては横ばいの41億8,685万ドルとなった。

その他の主要市場である欧米市場は、一部中国品に枠が復活したが、シェア11%を占める米国は11%減の6億6,333万ドルと苦戦、一方5%を占めるEUは2%増の3億1,452万ドルと健闘している。

品目別輸出では、原料関係は、綿類が数量で4%増の40万5,419トン、金額で横ばいの5億7,667万ドルと数量増の金額横ばいとなった。

太宗の合繊綿は、アクリル綿が好調に推移しているが、中心品目のポリエステル綿は減少し、数量で2%減の33万4,160トン、金額で4%減の4億5,241万ドルとなった。合繊綿の主要市場は数量ベースでEU、中国、ベトナム、香港、米国の順で、この5カ国で数量的に全体の70%を占めている。EU、米国は、数量・金額共に増勢推移となったが、中国は数量減の金額増、ベトナム、香港は数量・金額共に減少推移となった。

糸類の輸出は、数量で11%増の51万9,224トン、金額で3%増の11億482万ドルと数量・金額共に増加した。

最大品目の合繊長繊維糸は、ナイロン、ポリエステルが共に増勢で推移し、数量で11%増の29万9,981トン、金額で3%増4億9,575万ドルと好調に推移している。合繊長繊維糸の主要市場は、中国、香港、ベトナム、韓国、日本、EUの順で、この6カ国で数量的に全体の70%を占めている。中国、ベトナム、韓国は数量・金額共に増加、香港、日本、EUは数量・金額共に減少推移となった。

織物類の輸出は、金額で横ばいの13億4,915万ドルとなっている。内訳は、中心品目のポリエステル長繊維織物が数量で3%増の5億4,714万平方メートル(SM)、金額で2%増の4億253万ドル、ナイロン長繊維織物が数量で18%増の4億3,943万SM、金額で15%増の2億7,382万ドルと、いずれも好調に推移している。

ポリエステル長繊維織物の主要市場は、数量ベースで、香港、中国、EU、ベトナム、米国、アラブ首長国、メキシコ、インドネシアの順で、このうち、中国、EU、ベトナム、米国は数量・金額共に大幅増加推移、その他諸国は数量・金額ともに大きく後退している。

その他の主要織物では、綿織物が数量で横ばいの1億7,237万SM、金額で7%減の2億4,048万ドルと数量横ばいの金額減、また合繊短繊維織物は数量で13%減の1億6,655万SM、金額で6%減の1億4,276万ドルとなった。また、ニット生地は金額で3%増の9億9,109万ドルと増勢推移、コーテッド織物は金額で13%減の5億3,462万ドルと減少推移となっている。

なお、衣料品の輸出は、布帛製衣料品が25%減の1億9,182万ドルと大きく減少したが、ニット製衣料品は1%増の3億5,641万ドルと堅調な推移となっている。

#### <輸入も1%減の13億290万ドルと微減推移>

繊維品の輸入も1%減の13億290万ドルと微減推移となっている。

地域別輸入では、全体の68%を占める東アジアからの輸入は、主要国では、香港、日本、

韓国、インド、インドネシア等が総じて減少推移となったが、中国が倍増と急増しているため、全体としては4%増の8億8,917万ドルとなった。一方、欧米からの輸入は、シェア11%のEUは7%減の1億4,586万ドル、シェア10%の米国は14%減の1億2,517万ドルと何れも減少推移となった。

品目別輸入では、綿類は天然繊維原料を中心に数量で16%減の19万5,861トン、金額で13%減の2億7,133万ドルと数量、金額共に減少している。

綿類の内訳では、ポリエステル綿中心の合繊綿の輸入は数量で33%減の1万126トン、金額で31%減の2,504万ドル、またスフ綿は数量で13%減の6,598トン、金額で11%減の1,340万ドルと何れも大幅な減少となった。

糸類の輸入も、数量で24%減の5万689トン、金額で16%減の1億7,960万ドルと数量・金額共に低調な推移となった。内訳は、太宗の合繊長繊維糸の輸入は、数量で横ばいの2万5,756トン、金額で1%増の1億970万ドルと前年同期とほぼ同じ水準となったが、その他の糸の輸入は、綿糸が数量で32%減の1万5,904トン、金額で26%減の4,562万ドル、合繊短繊維糸は数量で50%減の6,998トン、金額で46%減の1,672万ドルと何れも大きく減少している。

織物類の輸入も、金額で19%減の7,789万ドルと低調な推移となっている。内訳は、綿織物が数量で34%減の3,564万SM、金額で38%減の2,451万ドル、合繊短繊維織物が数量で30%減の5,500万SM、金額で11%減の1,551万ドル、またポリエステル長繊維織物は数量で10%減の1,068万SM、金額で25%減の900万ドルと数量・金額共に何れも低調な推移となっている。

このように、綿・糸・織物類の輸入が何れも落ち込んでいる中で、衣料品は、中国からの輸入が著増しており、布帛製衣料品が17%増の3億1,697万ドル、ニット製衣料品が19%増の2億1,833万ドルと大幅に増加しているのが注目される。



## ◎ 2006年1～6月の繊維品貿易・輸出は好調に推移、輸入は微減推移

### 【輸 出】

—8%増の33億6,521万ドルと好調に推移—

タイの通関統計によると、2006年1～6月のタイの繊維品輸出は、クオータフリー後、再び中国品の一部に欧米で枠が設定されたこともあり、その影響が注目されるが、前年同期比8%増の33億6,531万ドルと好調に推移している。

2006年1～6月のタイの繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入						輸 出					
	2005年実績			2006年(1～6)			2005年実績			2006年(1～6)		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
繊維品合計												
原料(綿)合計	TON	2,929,876		TON	1,477,917		TON	3,365,210		TON	108	
スフ綿	TON	590,081		TON	361,699		TON	249,915		TON	108	
合繊綿	TON	5,768		TON	8,431		TON	31,517		TON	111	
(ポリエステル)	TON	48,379		TON	38,969		TON	197,692		TON	111	
(アクリル)	TON	25,457		TON	19,292		TON	129,729		TON	99	
糸合計	TON	18,594		TON	14,428		TON	67,110		TON	148	
人絹糸	TON	97,023		TON	207,384		TON	394,602		TON	96	
スフ糸	TON	2,534		TON	5,414		TON	6,508		TON	112	
合繊長繊維糸	TON	224		TON	475		TON	36,666		TON	132	
(ナイロン)	TON	72,910		TON	136,903		TON	171,311		TON	90	
(ポリエステル)	TON	31,585		TON	60,475		TON	43,283		TON	114	
合繊短繊維糸	TON	33,541		TON	47,532		TON	106,398		TON	85	
綿糸	TON	6,901		TON	19,427		TON	77,519		TON	104	
織物合計	TON	12,046		TON	31,338		TON	71,952		TON	103	
絹織物	TON	112,406		TON	301,489		TON	441,029		TON	97	
人絹織物	TON	103		TON	2,080		TON	7,650		TON	112	
スフ織物	TON	1,479		TON	5,014		TON	1,606		TON	120	
合繊長繊維織物	TON	22,319		TON	24,691		TON	36,388		TON	99	
(ナイロン)	TON	25,970		TON	75,737		TON	95,285		TON	102	
(ポリエステル)	TON	3,828		TON	13,151		TON	7,324		TON	58	
合繊短繊維織物	TON	14,189		TON	44,032		TON	44,292		TON	87	
綿織物	TON	16,516		TON	47,487		TON	125,009		TON	96	
毛織物	TON	43,116		TON	125,322		TON	172,742		TON	94	
不織布	TON	1,322		TON	15,149		TON	252		TON	32	
タイヤコード織物	TON	16,538		TON	37,168		TON	85,854		TON	91	
コーテッド織物	TON	21,155		TON	39,856		TON	38,940		TON	99	
ニット生地	TON	27,689		TON	26,792		TON	6,922		TON	92	
ニット製衣料	TON	47,784		TON	195,306		TON	79,533		TON	93	
布帛製衣料					44,335			986,689			115	
その他					69,211			749,031			103	
					388,108			361,769			115	

(注)2004年の合繊綿・合繊綿アクリルの数量は疑義があるが、タイ統計原本どおり。

出所：タイ通関統計

市場別のうち、州別では、東アジア（シェア：33%）が2%増、北米（シェア：32%）が6%増、ヨーロッパ（シェア：23%）が19%増で、この3大市場で全体の88%を占めており、何れも増勢で推移しているが、特に欧州向けの増加が目立っている。

国別では、米国、EU、日本、中国、アラブ首長国、香港、インドネシア、ベトナムの順で、この8カ国で全繊維品輸出の70%を占めている。最大市場の米国向けは7%増の10億2,660万ドル、EUが16%増の6億7,213万ドル、日本は3%減の2億593万ドル、中国が12%減の1億3,019万ドル、アラブ首長国が6%増の9,317万ドル、香港が1%減の8,835万ドル、ベトナムが14%増の6,162万ドル、インドネシアが1%減の6,968万ドルとなっている。その他主要輸出国は、バングラデシュ（5,576万ドル：9%増）、マレーシア（5,421万ドル：1%減）、インド（5,387万ドル：5%減）、韓国（4,908万ドル：15%増）となっている。

これを品目別に見ると、タイの最大輸出品目で全体の繊維品輸出の52%を占める衣料品の輸出は、ニット製衣料品が最大市場の米国、EU向けの増加を中心に15%増の9億8,669万ドルと2桁の伸びとなり、布帛製衣料品も3%増の7億4,903万ドルと堅調な推移となっている。

織物類は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は総じて伸び悩んでおり、全体として、数量で3%減の7万4,700トン、金額で横ばいの4億4,103万ドルとなった。

内訳は、最大品目の綿織物が数量で6%減の2万6,959トン、金額で5%増の1億7,274万ドルと数量減の金額増、合繊短繊維織物は数量で1%増の2万3,631トン、金額で4%減の1億2,500万ドルと数量増の金額減、また、合繊長繊維織物は数量で4%減の1万6,077トン、金額2%増の9,529万ドルと数量減の金額増となった。

一方、原料関係の輸出は、綿類は、金額で8%増の19万5,401トン、金額で10%増の2億4,992万ドルとなった。中心品目の合繊綿は、ポリエステル綿が、数量で横ばいの11万2,251トン、金額で1%減の1億2,973万ドルと伸び悩んだが、アクリル綿は数量で42%増の3万6,692トン、金額で48%増の6,711万ドルと大幅な増加となった。

糸類の輸出は、数量で4%減の16万488トン、金額で3%増の3億9,460万ドルと、数量減の金額増となった。太宗の合繊長繊維糸は、ナイロンが堅調に推移したが、ポリエステルは大幅に減少し、数量で10%減の8万5,948トン、金額で6%減の1億7,131万ドルとなった。その他の糸では、綿糸が数量で3%増の2万5,477トン、金額で5%増の7,195万ドル、合繊短繊維糸は数量で4%増の2万9,571トン、金額で9%増の7,752万ドルとなっている。

## 【輸 入】

—3%減の14億7,792万ドルと微減推移—

輸入は、輸出の増勢とは逆に3%減の14億7,792万ドルと微減推移となっている。

市場別のうち、州別では東アジアが68%と圧倒的なシェアを占め6%増、続いて欧州が同11%を占め7%増と何れも増加しているが、同9%の北米が35%減と大きく後退しているのが

目立っている。

国別では、中国、台湾、EU、日本、米国、香港、オーストラリアが7大輸入先で全繊維品輸入の77%を占めている。最大輸入先の中国からの輸入は13%増の3億7,085万ドル、続く台湾が12%増の1億6,869万ドル、EUが10%増の1億5,498万ドル、日本が9%減の1億4,150万ドル、米国が35%減の1億3,325万ドル、香港が6%増の8,954万ドル、オーストラリアが18%増の7,778万ドルの順で、日本、米国を除いて増加推移となっている。

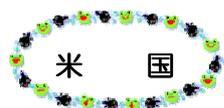
その他主要輸入先は、韓国(5,766万ドル:13%減)、インドネシア(5,223万ドル:1%増)、インド(4,329万ドル:67%増)等となっている。

品目別では、綿類の輸入は天然繊維原料が主体であるが、数量で27%減の25万5,567トン、金額で22%減の3億6,170万ドルと低調な推移となっている。

糸類の輸入は合繊長繊維糸主体に数量で5%増の5万2,859トン、金額で1%増の2億738万ドルと若干の増加推移となっている。

織物類の輸入は、主要品目では、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は数量・金額共に増加したが、最大品目の綿織物は数量・金額共に減少し、全体として数量で1%減の5万6,465トン、金額で7%減の3億149万ドルと数量・金額共に減少推移となった。一方、ニット生地は、数量で19%増の2万7,590トン、金額で15%増の1億9,531万ドルと、2桁の増加推移となった。

また、衣料品の輸入は、ニット製衣料品が56%増の4,434万ドル、布帛製衣料品が43%増の6,921万ドルと、中国、EUからの輸入を中心に、額は未だ小さいが大幅な伸び率となっている。



## ◎ 2006年6月の繊維品輸入、月間最高を記録

2006年6月の米繊維品輸入は4%増の48億平方メートル換算(SME)となり、月間最高輸入量を記録した。2006年1~6月の輸入は2%増の251億SMEとなり、1~6月期の輸入としては過去最高水準となった。

### 【6月の輸入】

米商務省が発表した2006年6月の米繊維品輸入は、前年同月比4.4%増の47億5,400万SMEで、月間輸入としては過去最高水準となった。6月の輸入のうち、アパレルは0.3%の微増ながら5カ月ぶりの増加となり、ノン・アパレル(糸、織物、その他繊維製品)は7.9%増と本年1月(10.9%増)以来の高い伸び率となり、4カ月連続の増加となった。

地域別輸入では、トップ供給国の中国は16億7,300万SMEで1.3%減と、本年2月(10.6%減)以来のマイナスとなったが、パキスタン(36.8%増)、ベトナム(32.6%増)、インドネシア(26.8%増)、インド(25.6%増)、韓国(23.0%増)、台湾(23.0%増)といったその他の

東アジア諸国は大幅な増加となった。

### 米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,829	6.8	22,010	10.3	50,839	8.3
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	2.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	▲1.4	2,065	19.5	4,553	7.1
7月	2,352	0.1	1,991	7.3	4,344	3.3
8月	2,592	8.2	2,160	13.3	4,752	10.4
9月	2,489	12.0	2,127	8.9	4,617	9.6
10月	2,576	13.8	1,917	6.3	4,492	9.3
11月	2,420	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,235	5.7	1,596	5.9	3,830	5.8
2006年	14,915	5.2	10,205	▲2.4	25,119	2.0
1月	2,502	10.9	1,698	3.2	4,200	7.6
2月	2,152	▲2.5	1,587	▲9.8	3,739	▲5.7
3月	2,361	0.9	1,687	▲2.4	4,048	▲0.5
4月	2,514	7.5	1,494	▲3.6	4,007	3.1
5月	2,702	6.2	1,668	▲2.1	4,371	2.9
6月	2,684	7.9	2,071	0.3	4,754	4.4

注：前年比は増減、▲は減少。 出所：米商務省（DOC）

#### 【1～6月の輸入】

2006年1～6月の米繊維品輸入は、前年同期比2.0%増の251億1,900万SMEとなり、1～6月期の輸入としては過去最高水準となった。品目別では、ノン・アパレルは5.2%増となったが、アパレルは2～5月のマイナスが響いて2.4%減となった。

1～6月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

- 主要地域別輸入では、いわゆるビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）及びアセアン、更に「その他地域」の中のパキスタン、インドといった東アジア諸国が伸びているが、米近隣のNAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコとカナダ）及びCBI（カリブ海沿岸諸国）は大きく落込んでいる。

このような状況の下で、供給国の順位を前年と比べると、第1位の中国は変わらないが、

メキシコがパキスタンに追い抜かれて第2位から第3位に、カナダがインドに追い抜かれて第4位から第5位に夫々転落している。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年 1-6月	前年 同期比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,839	25,119	2.0
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	3,072	▲12.9
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	1,762	▲10.3
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	1,310	▲16.3
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	1,822	▲14.0
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	553	▲12.4
エルサルバドル	768	817	895	895	897	337	▲26.8
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	295	▲20.6
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,595	10,052	4.5
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	8,129	3.0
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	1,070	12.8
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	565	15.1
香港	1,092	962	892	862	721	288	0.9
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	2,814	19.4
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	504	1.0
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	794	23.3
フィリピン	916	817	794	711	643	347	18.1
ベトナム	33	358	827	905	950	565	34.5
カンボジア	389	474	561	673	740	395	28.9
EU（15カ国）	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	903	▲11.0
イタリー	521	518	533	462	385	168	▲22.9
ドイツ	457	551	484	479	453	208	▲11.6
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	6,456	7.7
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	1,880	20.5
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	1,352	15.6
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	740	16.4
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	361	▲18.5

○ ビッグ4からの輸入は4.5%増と堅調であるが、伸び率は前年1～6月期の28.7%に比べ大幅に鈍化している。これは主に、ビッグ4の太宗国の中国が米繊維輸入規制により前年同期の46.6%増から3.0%増に鈍化していることによる。それでも、中国は全体の32%を占め、トップサプライヤーとして米繊維輸入市場を席卷している。

その他のビッグ4構成国では、韓国と台湾は織物を中心にそれぞれ12.8%、15.1%の増加となった。他方、香港は、主力の衣料品は伸びたが、織物とその他繊維製品の不調で0.9%の微増にとどまっている。

○ アセアンからの輸入では、インドネシアが23.3%増、フィリピンが18.1%増、ベトナムが34.5%増、カンボジアが28.9%増と、主要国の殆どが二桁の大幅増となり、アセアン全体で

19.4%増となった。なお、アセアンからの輸入は衣料品が全体の72%を占めている。

- 一方、NAFTAパートナーからの輸入では、衣料品中心のメキシコは10.3%減、糸・織物主体のカナダは16.3%減となり、両国合わせて12.9%減となった。

CBIからの輸入は、主要国のホンジュラス、エルサルバドル、ドミニカ共和国がいずれも二桁の減少となり、全体で14.0%減となった。CBIからの輸入では、アパレルが97%と殆どを占めている。

- EU(15カ国)からの輸入は、主力のイタリーとドイツが共に織物の不振でそれぞれ22.9%、11.6%の減少となり、全体で11.0%減となった。

- 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、パキスタンが20.5%増、バングラデシュが16.4%増、インドが15.6%増と、いずれも大幅な増加となった。これらの東アジア諸国は「ポスト・クオータ」のメリットを活かして対米輸出を活発に展開している。

### ◎ 2006年7月の米大手小売店販売、猛暑で夏物好調

米国の国際ショッピング・センター協会（ICSC）が纏めた「米チェーン・ストア販売動向レポート」によると、

米大手小売店60社の2006年7月の売上高は前年同月比（既存店比、以下同じ）3.5%増となり、前年同月の伸び率（3.6%）を僅かに下回ったが、前月の伸び率（2.6%増）を上回った。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位；%

年 月	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0
2	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2
3	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1	1.9
4	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2	6.6
5	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9	4.5
6	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2	2.6
7	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6	3.5
8	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	3.6	
9	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	4.0	
10	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	4.4	
11	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	3.5	
12	0.7	2.2	1.0	4.3	2.7	3.2	
年間平均	4.0	2.6	3.1	2.9	3.8	3.9	

注：伸び率は前年同月比（既存店比）の増減を示す。

米小売アナリストは、「7月の小売販売では、ガソリン高騰、金利上昇などの影響で、秋物や9月からの新学期用品購買の出足が遅れているが、

全国的な猛暑で夏物衣料、プール用品、エアコン等が売れ、夏物一掃セールが進展した」と分析している。

衣料品を主力とするストアの7月の販売状況は、以下の通り。

○ 大手百貨店は、殆どが売上げを伸ばした。高級百貨店では、ノードストロムが5.3%増、ニーマン・マーカスとサクス・フィフス・アベニューが3.4%増となった。

このうち、ニーマン・マーカスは、商品では女性用のコンテンポラリー・スポーツウェア、デザイナー・ハンドバッグ、シューズが好調であった。また、サクス・フィフス・アベニューでは、女性と男性用コンテンポラリー・アパレル、女性用の欧米デザイナー・コレクション、アクセサリがベスト・セール品目であった。

中級百貨店では、ディラードが3.0%減となったが、ボン・トン・ストアーズは12.2%増、コールズは5.9%増、J.C.ペニーは4.9%増、フェデレーテッドは3.3%増となった。

このうち、J.C.ペニーは、「地域では全ての地域で売上げが伸びたが、特に西部と南東部が最も好調であり、また商品でも全ての商品部門で販売増となったが、特に女性用アクセサリ、男性用アパレル、ファミリー・シューズが好調であった」と述べている。

2006年7月の米主要小売店の販売状況

単位：100万ドル、%

小売店名	売上高	
		前年同月比
<b>&lt;百貨店&gt;</b>		
ボン・トン・ストアーズ	210	12.2
ディラード	528	-3.0
フェデレーテッド	1,608	3.3
J.C.ペニー	1,057	4.9
コールズ	972	5.9
ニーマン・マーカス	350	3.4
ノードストロム	842	5.3
サクス・フィフス・アベニュー	167	3.4
<b>&lt;衣料品専門店チェーン&gt;</b>		
アバクロンビー&フィッチ	230	3.0
アメリカン・イーグル・アウトフィッターズ	197	7.0
アン・テラー・ストア	156	5.1
ドレス・バーン	95	5.0
エアロポステール	94	-1.9
ギャップ	1,050	-4.0
リミテッド・ブランド	656	7.0
メンズ・ウェアハウス	98	2.0
パシフィック・サンウェア	102	-10.8
<b>&lt;ディスカウント・ストア&gt;</b>		
ターゲット	3,937	3.1
TJX	1,200	4.0
ウォル・マート	25,663	2.4

○ 大手衣料品専門店チェーンでは、若者向け衣料品専門店チェーンの販売は斑模様であり、アメリカン・イーグル・アウトフィッターズとリミテッド・ストアが7.0%増、アバクロンビー&フィッチが3.0%増となったが、パシフィック・サンウェアは10.8%減、ギャップは4.0%減、エアロポステールは1.9%減となった。

このうち、リミテッド・ブランドは、傘下小売店では、エクスプレス（男性・女性用衣料品専門店）が10%減、リミテッド・ストア（女性用衣料品専門店）が12%減となったが、ビクトリアズ・シークレット（女性用下着専門店）が

13%増、バス・アンド・ボディワークス（バス用品専門店）が 16%増と大幅に伸び、アウター・アパレル部門の減少を補った。

一方、衣料品専門店チェーン最大手のギャップは依然客足が低調で、6 カ月連続のマイナスとなり、傘下ストアでは、バナナリパブリックとオールドネイビーが横ばいにとどまったが、ギャップ・ストアは 13%の大幅減となった。

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンでは、アン・テラー・ストアが 5.1%増、ドレス・バーンが 5.0%増と、ともに順調に推移した。

このうち、アン・テラー・ストアは、部門別では、アン・テラー部門（高級衣料品店）が 1%の若干増ながら 12 カ月連続の増加、アン・テラー・ロフト部門（手頃価格衣料品店）が 8%増で 4 カ月連続の増加を記録した。両部門で大幅に伸びた商品は、スーツ、スカート、カジュアル・セパレート・アパレル、プティート・アパレル、ドレス、セーター、アクセサリーであった。○ 大手ディスカウント・ストアでは、T J Xが 4.0%増、ターゲットが 3.1%増、ウォル・マートが 2.4%増といずれも堅調に推移した。このうち、最大手の小売企業であるウォル・マートは、「当店の顧客は食料品や日用品を優先して購買しているが、新学期用品の値引き販売に対しても好反応を示しており、衣料品ではスクール・ユニフォーム、スクリーン・プリントTシャツ、ファッション・デニムとショーツが好調であった」と説明している。

## 組合関係の会議と催事

【2006年8月】

### 輸出入

I. 第1回「上海分会」を開催。

### 輸出

I. 「大連博出展者打合せ会」を開催。

II. 「貿易保険システム打合せ会」を開催。

III. 「プルミエール・ビジョン視察団打合せ会」を開催。

### 輸入

I. 「アパレル生産の実際知識研修会」（関東地区）を開催。

2日（水）

輸出（大阪）「大連国際服装紡織品博覧会」出品者打合せ会が輸出組合会議室で開催され、出展品目などについて検討が行われた。

4日（金）

輸出（大阪）独立行政法人日本貿易保険担当官と輸出組合担当者の「貿易保険システム打合せ会」が同組合会議室で開催された。

8日（火）～9日（水）

輸入（東京）文化女子大学にて服装造形学研究所・正田助教授を講師に「アパレル生産の実際知識研修会」（関東地区）が開催され、組合員企業より8日/47名、9日/42名が参加された。

18日（金）

輸出入（上海）輸出・輸入両組合の第1回「上海分会」が上海、虹橋地区、国貿ビル会議室で開催され、出席会員より自己紹介と内海専務理事より「上海分会」設立経緯と委員名簿の説明の後、会長として橋本丸紅繊維（上海）有限公司総経理が選任された。続いて日中経済貿易センター上海事務所・池田副所長より上海外高橋保税區企業区外分公司の登記問題について説明があり、併せて中国政府による増値税輸出還付率引下げ検討、青浦地区での保税加工貿易管理強化、等について活発な意見交換が行われた。終了後、懇親会が開催された。

25日（金）

輸入（石川）第90回「寝具インテリア委員会」（吉田委員長）が開催され、①インテリアライフスタイル展出品結果②情報交換が行われた。

28日（月）

輸入（東京）日本繊維産業連盟・奥田事務総長が来所され、事務局と懇談された。

30日(金)

輸入 (東京)「組合運営に関するタスクフォース」委員により組合の資金運用についての打合せが行われた。

31日(木)

輸出 (横浜)「プルミエール・ビジョン視察団打合せ会」が開催され、視察スケジュール等について検討が行われた。

### 9月のスケジュール (9月6日現在)

1日(金)	輸出	(大阪)	「大連博出展者打合せ会」 「貿易保険システム打合せ会」
4日(月) ～5日(火)	輸入	(大阪)	「アパレル生産の実際知識」研修会
7日(木)	輸入	(大阪)	「第26回綿委員会」
9日(土) ～12日(火)	輸出	(大連)	「大連国際服装紡織品博覧会」
17日(日) ～22日(火)	輸出	(パリ)	「プルミエール・ビジョン」視察

## －第1回「上海分会」開催概要－

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合は両組合の共同海外事業として、組合員の多くが事務所や現地法人を有する中国の上海市に「上海分会」を発足させた。その第一回会合が本年8月18日（金）に開催され、活動がスタートした。以下は開催概要である。

### 第1回「上海分会」概要

#### (1)「上海分会」設立内容

##### (1)設立概要

目的： 中国は我国の繊維品貿易では最大の輸出相手国として、併せて輸入相手国として、最も重要な貿易相手国である。そのため組合員の多くが現地に出先企業や事務所を設けている。

日本繊維輸出組合・日本繊維輸入組合では両組合の合同事業として、組合員の上海駐在企業相互の情報交換と懇親を促進し、また、必要に応じて中国現地の共通する問題への対応等を模索するために、両組合の「上海分会」を設立する。

参加予定者：○日本繊維輸出組合若しくは日本繊維輸入組合の組合員で上海に現地法人若しくは駐在員事務所を有する企業

(発足時の現地組合員企業案内先)

**\* 輸出・輸入両組合タスクフォース委員会社ほか**

丸紅、伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、西田通商、住金物産、瀧定大阪、豊田通商、八木通商、興和、住友商事、豊島、兼松、新興産業、五十嵐貿易、ヤギ、西澤

○日本繊維輸出組合若しくは日本繊維輸入組合の事務局

○日中経済貿易センター 上海事務所

開催形態： 会長会社は現地会員間で互選する。開催は四半期に1回の開催を原則とし、また、緊急の場合は必要に応じてその都度開催する。

#### (2)情報交換と報告内容

##### 組合員上海駐在員/報告内容：

1. 情報交換 → 組合員の現地会員企業が抱える共通問題とそれへの対応。
2. 各種情報の入手 → 講演等

(講演者は会員企業駐在員、現地異業種駐在員、中国側関係者等)

輸出入組合事務局/報告内容：

1. 日本の繊維貿易動向
2. 日本・中国の FTA・EPA 等の動向
3. 輸出入組合の主要事業（主要委員会動向）報告
4. 行政の動き等

日中経済貿易センター上海事務所/報告内容：

1. 中国の法律、法規、制度等の最新情報等
2. 日系異業種の駐在員情報等

(2) 会員名簿 (9月6日現在)

敬称略

会社名(現地)	会員氏名/役職名
蝶理(中国)商業有限公司	山下幸雄 総経理
五十嵐貿易株式会社	尹蓉 所長代理
伊藤忠商事繊維貿易(中国)有限公司	大月秀夫 董事長
兼松(上海)有限公司	保坂 明 繊維本部長
興和上海貿易有限公司	大久保行紀 経理
丸紅繊維(上海)有限公司	橋本雅至 総経理
菱華商業(上海)有限公司	澤田賢治 総経理
三井物産国際服装有限公司 上海代表处	佐藤 仁 主席代表
紹興凱越進出口公司杭州事務所	岩田 勝 総経理
尼西則瓦(上海)貿易有限公司	服部 大典 総経理
新興産業株式会社 上海駐在員事務所	金井克弘 上海事務所長
住商国際時装有限公司 上海代表所	松尾 茂 事務所所長
住金物産株式会社	西田外志雄 中国総代表
瀧定大阪株式会社	山本克美 貿易業務
豊田通商(上海)有限公司	永野 亨 繊維製品第二部経理
豊島国際(上海)有限公司	臼井 豊 副総経理
日本八木株式会社 上海代表处	本田和洋 中国駐在員事務所統括
八木通商株式会社 上海代表处	橋本健一郎 上海事務所長

### (3) 会長選出

事務局より丸紅繊維（上海）有限公司の橋本総経理を会長に推薦し全員賛成の上、選任された。

### (4) 意見交換

日中経済貿易センター上海事務所・池田副所長より「上海外高橋保税区企業区外分公司の企業登録及び税務登記」に関して説明があり、各社の現状等について意見交換が行われた。併せて、中国政府による繊維品輸出の増値税還付率の改定の検討、青浦地区での保税加工貿易管理強化、等について活発な意見交換が行われた。

以上



## ◎ 引受方針変更及び国別引受条件の緩和（輸出組合）

独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、「新しい貿易保険商品・両立体系について（要）」に基づき、国別引受条件を大幅に緩和するべく、全般的な見直しを進めてきましたが、この度、国別引受方針を変更し、実施日より適用することとなった”旨連絡がありましたので、通知します。

この結果、下記の取扱いとなります。

### 1. 引受方針の変更（6カ国）

国コード	国名	国倍率	新	案件枠	ILC	旧
628	パラオ	3.8倍（据置）	通常国			条件付引受国
247	モンテネグロ	8.0倍（据置）	条件付引受停止国			セルビアから独立
154	キルギス	8.0倍（据置）	条件付引受国	1億円	有り	条件付引受停止国
155	タジキスタン	8.0倍（据置）	条件付引受国	1億円	有り	引受停止国
529	中央アフリカ	8.0倍（据置）	条件付引受国	1億円	有り	条件付引受停止国
505	リビア	8.0倍（据置）	条件付引受国			条件付引受国 ※

※：与信管理区分 G に格付けされている者を相手方とするものは保険契約の締結に際し、保険証券に次の特約を記載する。「独立行政法人日本貿易保険は、貿易一般約款第4条第11号に規定する事由については、てん補する責めに任じない」

### 2. 引受限度枠原則撤廃と引受限度額及び ILC 取得条件の緩和（条件付引受国 31カ国）

国コード	国名	国倍率	引受限度額	ILC 取得条件
150	アゼルバイジャン	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
149	イエメン共和国	6.0倍（据置）	10 億円（据置）	無し（旧有り）
118	インドネシア	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
238	ウクライナ	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（旧有り）
412	ウルグアイ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
517	ガーナ	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（旧有り）
531	ガボン	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	有り（据置）
306	グアテマラ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）

329	グレナダ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
541	ケニア	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（据置）
610	サモア	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
125	スリランカ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
336	セントビンセント及 びグレナディーン	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
330	セントルシア	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
543	タンザニア	6.0倍（据置）	10 億円（据置）	無し（旧有り）
323	ドミニカ共和国	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
234	トルコ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
614	トンガ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
617	ナウル	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
124	パキスタン	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（据置）
611	バヌアツ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
602	パプアニューギニア	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
411	パラグアイ	6.0倍（据置）	10 億円（旧 5 億円）	無し（旧有り）
127	バングラディッシュ	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（旧有り）
117	フィリピン	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
132	ブータン	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
110	ベトナム	4.5倍（据置）	50 億円（据置）	無し（旧有り）
402	ベネズエラ・ボリバル	6.0倍（据置）	20 億円（旧 10 億円）	無し（据置）
126	モルディブ	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
144	ヨルダン	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）
326	蘭領アンティール	4.5倍（据置）	撤廃（旧 10 億円）	無し（据置）

\* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

3. 実施日：平成18年9月11日

## お知らせ

－ 2006 年 10 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2006 年 10 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。  
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題  
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 開催日 2006 年 10 月 11 日（水）及び 10 月 25 日（水）
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次  
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E-Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、  
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件  
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

## 組合員情報

### ○ 組合員の脱会

- (輸出) センガメنزウエア株式会社 (8月8日付け)  
株式会社トーヨーコーポレーション (8月14日付け)  
株式会社レナウン (8月15日付け)